





<https://asm3.org>

第3回北極科学大臣会合

日本  アイスランド  共催

北極域の科学研究を進めるために
今 必要な**行動**を議論する。

3rd

日時 2021年5月8日(土)-9(日)

Arctic >>> Tokyo

Science Ministerial



Government of Iceland
Ministry of Education,
Science and Culture



文部科学省

MINISTRY OF EDUCATION,
CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

北極科学研究への日本の関与

1991

国際北極科学委員会 (International Arctic Science Committee: IASC) に加盟

2013

北極評議会 (Arctic Council: AC)* のオブザーバー資格を取得

2015

「我が国の北極政策」を策定

2016

第1回北極科学大臣会合 (ASM1) に参加

■米国の主催 [ワシントンDC]

■25カ国・政府、北極圏の6先住民団体が参加

松本洋平内閣府副大臣 (海洋政策) (当時) が出席し、長年にわたる日本の北極観測・研究の成果や、2015年に開始した「北極域研究推進プロジェクト (ArCS)」について発言。



2018

第2回北極科学大臣会合 (ASM2) に参加

■EU/フィンランド/ドイツの共催 [ベルリン]

■26カ国・政府、北極圏の6先住民団体が参加

柴山昌彦文部科学大臣 (当時) が出席し、日本の北極観測・研究の成果、ノルウェー・ニーオルスンの観測基地の状況、グリーンランドにおける現地住民と連携した取組について発言。



2021

第3回北極科学大臣会合 (ASM3) を開催

■日本/アイスランドの共催 [東京]

■招待国・政府 (28): オーストリア、ベルギー、カナダ、中国、チェコ、デンマーク (フェロー諸島、グリーンランド)、フランス、フィンランド、ドイツ、インド、イタリア、マレーシア、オランダ、ノルウェー、ポーランド、ポルトガル、韓国、ロシア、シンガポール、スペイン、スウェーデン、スイス、タイ、英国、米国、EU

■北極圏に居住する先住民団体 (6): アリュート国際協会、北極圏アサバスカ評議会、グイッチン国際評議会、イヌイット極域評議会、ロシア北方民族協会、サーミ評議会



北極科学大臣会合とは

北極科学大臣会合 (Arctic Science Ministerial: ASM) は、北極における研究・観測や社会的課題への対応のために関係国間の国際協力や北極の先住民団体との協力を促進することを目的として、2016年に第1回会合 (ASM1) が、2018年に第2回会合 (ASM2) が開催されました。ASMには北極圏国に加えて非北極圏国と北極の先住民団体が参加し、会合の成果として共同声明 (Joint Statement) が採択されます。

第3回北極科学大臣会合 (ASM3) について

北極は、世界の共通関心事項です。日本は、ASM3の議長国として会合において主導的な役割を果たし、北極での科学研究の国際協力体制の構築を目指します。

ASM3では、「持続可能な北極のための知識」 (“Knowledge for a sustainable Arctic”) をメインテーマに掲げ、4つのサブテーマごとに科学研究の国際協力について議論します。

1. 観測: 観測ネットワーク、データ共有 ~ 実装に向けて ~
2. 理解: 北極環境及び社会システムとその全球的影響の予測と科学的理解の強化
3. 対応: 持続可能な開発、脆弱性と回復力の評価、科学的知識の適用
4. 強化: 人材育成、教育、ネットワーク形成 ~ 次世代を念頭において ~

2020年10月よりASM3のテーマに沿って、Webinar Series (連続オンラインセミナー) (全8回) を実施しています。各回は、ASM3のScience Advisory Boardの委員や研究者による講演と参加者との質疑応答で構成されています。事前登録をすれば、どなたでも参加可能です。既に終了した回の動画をホームページにて公開しています。

■北極科学大臣会合のホームページ

<https://asm3.org> (英語)



https://www.mext.go.jp/a_menu/kaihatu/hokkyoku/ASM3_jp.htm (日本語)



*北極評議会

北極評議会の設立に関する宣言 (オタワ宣言) (1996年9月19日) に基づき、北極圏国8か国 (カナダ、デンマーク、フィンランド、アイスランド、ノルウェー、ロシア、スウェーデン、米国) によって設置されたハイレベル・フォーラムとして設立されました。北極における持続可能な開発、環境保護といった共通の課題について協力等を促進することを目的としています (オタワ宣言では、軍事・安全保障に関連する事項は扱わないこととされています)。(外務省ホームページより)